

天工だより12月号

今年も残り1ヶ月となりました。12月には、期末テスト、校内長距離走大会等が実施されます。万全の準備をして臨みましょう。11月13日(金)に行われた天工祭では、コロナ禍で例年とは違った形での実施となりました。それぞれの展示物や発表は、短い準備期間の中でも趣向を凝らした素晴らしいものがみられ、例年と変わらない盛り上がりを見せてくれました。これから寒さが厳しくなりますので、体調管理にも十分気をつけながら、それぞれの目標に向かって頑張ってください。

令和2年 12月行事予定表		
日	曜	課外 学校行事
1	火	期末考査1日目
2	水	期末考査2日目、天工リフレッシュDay
3	木	期末考査3日目
4	金	期末考査4日目
5	土	
6	日	
7	月	校内長距離走大会代休
8	火	★SC訪問
9	水	★天工リフレッシュDay、進路相談会(市民センター16:00~18:00)
10	木	★
11	金	★パソコン利用技術検定
12	土	校内長距離走大会、第2種電気工事士実技試験(熊本市)
13	日	
14	月	★
15	火	★
16	水	★天工リフレッシュDay
17	木	★第5回漢字テスト、学校献血1日目(3年生・職員希望者)
18	金	★学校献血2日目(3年生・職員希望者)
19	土	
20	日	第1種電気工事士実技試験(熊本市)
21	月	★
22	火	★
23	水	★天工リフレッシュDay、クラスマッチ(①②授業(水5、6)、③~クラスマッチ)
24	木	表彰式、終業式、成績関係保護者会(16:00~)、長距離走追走
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	

★印は進学・公務員課外実施日となっています。
12月の行事予定は、本校のホームページでもご覧になれます。

<http://sh.higo.ed.jp/amakusaths/>

天草工業高校

検索



人権教育部通信

No. 1

皆さんは「世界人権宣言」について知っていますか。この宣言は、すべての人間が生まれながらに基本的人権を持っていることを初めて公式に認めた宣言で、1948年12月10日、第3回の国際連合総会で採択されました。

第2次世界大戦が終わると、戦争が引き起こした惨劇への反省から国際連合が生まれ、各国は人権侵害を放置することが虐殺や戦争につながったことを認めました。そして、世界平和を実現するためには、世界各国が協力して人権を守る努力をしなければならないことを明らかにしたのです。「世界人権宣言」が謳っている理想を、理想のままに終わらせないために、皆さんも人権問題に関心を持って取り組んで欲しいと思います。

さて、2学期の人権学習として10月22日(木)、1年生は県の「水俣病の教訓を伝える高等学校訪問事業」を活用した授業に取り組みました。このような形での取組は、昨年度に引き続き2年目となります。今年度は、コロナ禍での実施となったため、感染防止の手立てを取りつつ教室のみでの授業となりました。クラスごとにテーマも違い、その学習内容を広用紙にまとめて天工祭で展示しましたが、見ていない生徒も多いと思い、今回改めて報告したいと思います。

各クラスの授業内容は、以下のとおり。

M1A 講師:杉本肇さん

テーマ:「水俣病患者家族に生まれて」(語り部からの講話)

水俣病を患った家族の暮らしのこと、子供の時の経験のこと、漁師として生活している今のこと、などを話していただいた。

M1B 講師:小泉初恵さん

テーマ:「水俣病は『しかたがなかった』のだろうか?」

NHK「その時、歴史が動いたわが会社に非あり〜水俣病と向き合った医師の葛藤〜」(2007/05.06 放映)の映像資料を使い、細川一医師を題材にしたワークショップを実施。



E1 講師:谷洋一さん

テーマ:「水俣病事件の教訓とこれから〜水俣から世界へ」

- ①自己紹介と水俣から見える景色、不知火海、日本、アジア、世界。
- ②不知火海の特徴とその汚染状況、天草地域への影響。今わかってきていること。
- ③水俣病事件概説。水銀規制と水銀条約。
- ④新型コロナウイルスと熊本豪雨災害、水俣病事件に取り組んで見えてきたこと。



C1 講師:奥羽香織さん

テーマ:「水俣病から考えること」

質問シートを踏まえ、生徒の関心に応じてテーマを選び、そのことについて考える。

J1 講師:吉永利夫さん

テーマ:「『水俣の箱』から考えよう」

- ①「水俣の箱」(講師制作)から、素材を選ぶ。
- ②誰に伝える? *水俣病の何が伝えられそう?
- ③「天草工業高校の箱」「情報技術科の箱」「〇〇の箱」を考えよう!
「水俣の箱」の一品と伝えたいことを伝えるための「商品」化への実践



2学年インターンシップ

10月27日（火）から30日（金）までの4日間、2年生がインターンシップを行いました。今年度は、コロナ禍で実施も案じられましたが、多数の事業所から例年通りのご協力をいただくことができ、天草内外の74事業所で実施させていただくことができました。生徒達は受け入れていただけることへの感謝の心と期待感を持って実習に臨み、自分の適性を見極めたり、仕事の大変さ、コミュニケーション力の必要性等を学ぶことができました。また、今年度は実施後に事業所毎に実習内容をまとめ、天工祭での展示や発表を行いました。



インターンシップを終えて・生徒の感想

就業場所：九州柳河精機株式会社 M2A 本多 映輝
私は実際に工場ライン作業に入りました。主に製品の異常の有無を確認する作業でした。今回、一番大切だと感じたのは、目上の方とコミュニケーションをとることです。社会人になってこの能力はとても重要だと学んだので、今後の学校生活や私生活で向上させていきたいと思います。

就業場所：共栄建設株式会社 C2 有江 輝
今回のインターンシップは、現場見学をさせていただきました。現場にはたくさんの作業員の方々がいて、トラブルが起きた時などはその対処方法を話し合っておられ、積極的にコミュニケーションをとることが大事だと学びました。また、現場監督の方から「資格が一番大事だから勉強していて損はない」という話をいただき、これからは勉強を頑張ろうと思いました。

インターンシップ後の生徒アンケートより

- 進路を考えるきっかけとなったか・・・「きっかけとなった」92%
- 社会人のルールやマナーを学ぶことができたか・・・「学ぶことができた」96%

「動画投稿の危険性について」

生徒指導部

動画投稿の危険性について

インターネット上で、不特定多数の利用者が投稿した動画を無料で見ることができるサービスが人気を集めています。スマートフォンひとつで動画の撮影から投稿までできるため、動画を見るだけでなく、自分で撮影した動画を投稿している子どもたちも増えています。しかし、動画投稿をきっかけにトラブルに巻き込まれてしまうケースもあり、大きな問題となっています。

インターネットへの動画投稿をきっかけに起こる問題とは

インターネットへの動画投稿をきっかけに起こる問題には、以下のようなものがあります。

- ・不適切な動画を投稿して炎上する

「たくさんの人から注目を集めたい」といった動機から、公共の場で迷惑行為をしている様子や、危険行為をしている様子、立ち入り禁止場所に進入している様子などの不適切な動画を投稿している人たちがいます。こうした動画を投稿すると、動画を見た人から非難のコメントが集まり、個人情報を特定されて、動画と一緒にさまざまなサイトに掲載されることがあります。



- ・動画の背景から住所や居場所を特定される
動画に映り込んだ家の内観や特徴的な建物、街の風景などから、住所や居場所を特定されることがあります。実際に動画を見た人から住所や居場所を特定され、会いにこられてしまったケースもあります。

- ・勝手に動画を転載される
インターネットに投稿された動画は簡単に保存することができます。不適切な動画でなくても、気になった動画を保存して、いたずらなどを目的にさまざまなサイトに載せていく人がいます。そうやって動画を転載されると、それらをすべて削除することは難しくなります。



この動画に映ってるの、○○町の土手だな



インターネットへの動画投稿はさまざまなトラブルのきっかけになることもあるということ子どもたちに理解させ、動画を投稿する前に、不適切な内容でないか、住所や居場所につながる情報が含まれていないか、二度と消せなくなっても大丈夫なものかを必ず確認するよう指導していくことが大切です。